

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢吹町立善郷小学校（福島県）

## 【取組内容①】 国語科での個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## これまでの国語科の授業

- ・ 教師の発問に対して、個別に読む時間を設定ながら全員で課題解決していく。
- ・ 教科書、ノートを使って学習を進めていくことが中心。

## アウトプットを目標においた単元構成

- ・ 児童1人1人の目的に応じて主体的に活動できる。
- ・ 情報の取捨選択を迫られる場面が増える。（必要な情報を選び出す力）

## 児童の変容

- ・ タブレット型端末の効果的な活用を考える。（シンキングツール、ミラーリングによる発表）
- ・ 学ぶ方法を自ら考える。

「タブレット型端末を活用する」ためにどうするかではなく、児童にどのような内容をアウトプットさせるかを考え、単元を構成していく。そうすることで、児童が自ら考える場面が増えていく。